

II 財政状況の分析

区 分	内 容
財務上の特徴	<p>三浦市は第1次産業を中心とする経済基盤を持つ、首都圏では特異な都市である。社会情勢の変化等による農漁業の衰退により第1次産業従事者は減少したが、依然全就業者の11.7%（平成17年国調）を占め、県下第1位の割合となっている。平成17年国調では人口が5万人を切り、今後も人口増、またそれに伴う税収入の増加が難しい状況である。</p> <p>また、平成17年度では経常収支比率が100%を超えたが、人件費や公債費等の減少により、平成18年度では98.9%と回復傾向にある。財政力指数についても近年は微増傾向にあり、類似団体平均（平成17年度0.59）を上回っている。</p> <p>引き続き、歳出の緊縮を図るとともに、税徴収率向上等による歳入確保に努め、財政健全化を図る。</p>
財政運営課題	<p>課 題 ① 経費節減等の財政効果</p> <p>○予算の分権編成方式により、予算の効率化及び削減を行っていく。 ○公有資産の収益資産化等の税外収入増加策を図っていく。</p> <p>課 題 ② 事務・事業の再編・整理、廃止・統合</p> <p>○すべての事業について事業効果を見極め、見直しを行っていく。</p> <p>課 題 ③ 給与・定員管理の適正化</p> <p>○「行政革命戦略5つの宣言」における職員数削減計画を遵守していく。</p> <p>課 題 ④ 民間委託等の推進</p> <p>○指定管理者の導入により、市民サービスの向上とコスト削減を引き続き図っていく。</p> <p>課 題 ⑤</p>
留意事項	

注1 「財務上の特徴」欄は、人口や産業構造、財政構造や地域特性等を踏まえて記載すること。また、財政指標等について、経年推移や類似団体との水準比較などをし、各自工夫の上説明すること。

2 「財政運営課題」欄は、税収入の確保、給与水準・定員管理の適正合理化、公債負担の健全化、公営企業繰出金の適正運用、地方公社・第三セクターの適正な運営等、団体が認識する財政運営上の課題及びその具体的施策について、優先度の高いものから順に記載する。また、財政運営課題と認識する理由を類似団体等との比較を交えながら具体的に説明すること。

3 「留意事項」欄は、「財政運営課題」で取り上げた項目の他に、財政運営に当たって補足すべき事項を記載すること。

4 必要に応じて行を追加して記入すること。